

## 赤塚城址のバッタ広場について

いたばし水と緑の会

### 赤塚公園城址地区の自然

自然は、大きければ大きいほど、また分断されているより連続している方がより豊かであると言われています。城址地区は武蔵野台地の北端にあり、崖線樹林地に囲まれた広々とした草地で、崖下には湧水があり、湧水を利用したとんぼ池があります。以前周囲は畑でしたが、宅地に変りつつあり、自然度も低下していますが、それでもここは都内で最も自然がよく残されている地域の一つです。

### バッタ広場

バッタ広場は、いたばし水と緑の会が、生きものがすすめる草地として 2000 年から維持管理している草原ビオトープです。草地に住む生きものばかりでなく、周囲の樹林地にすむ生き物達が行き来します。

### バッタ広場の生きもの

貴重種ではなく、昔なら普通に見られたありふれた生き物達がすんでいます。立ち入り禁止ではありません。誰でも中に入って生きものを観察できます。

チョウ・蛾類、バッタ・キリギリス類、カマキリ、甲虫類、カメムシ、ヘビやヒキガエル、カナヘビなども見られます。

<クイズ>カマキリはなぜここにいるのでしょうか。

「板橋のチョウを調査する会」の観察会では、バッタ広場の蝶の種類数が植物園より多かったそうです。バッタ広場は植物園よりはるかに狭く、チョウの食草・植樹がいろいろ生えているわけではなく、植物園のように花壇に花が咲いているわけでもありません。なぜチョウチョが多く見られるのか不思議です。

### バッタ広場のなりたち

<クイズ>バッタ広場は、公園の草刈を止めてもらい、いたばし水と緑の会が管理していますが、ここに生えている植物は会員が植えたものではありません。ではどうやって来たのでしょうか。

<クイズ>バッタ広場の周囲を歩いて見てみましょう。みんながよく知っている公園とどこが違いますか。バッタ広場の正面と奥は、どこが違いますか。

### 植物の戦略と生存競争

太陽の光を遮るものがない城址で、植物たちが生存競争を繰り広げています。樹林地から地下茎を伸ばし侵入したササは冬も枯れず、優勢になってきました。他の植物に覆い被さるように葉を広げるクズも負けていません。バッタ広場を一周すると、広々していても樹林地のそばと木がまったくない場所とでは、植物の生育が歴然と違います。

## バッタ広場の植物と公園の植物の違いー生物の多様性

いろいろな植物があつていろいろな生きものがあります。

人間は雑食性で何でも食べますが、蚕はクワを、パンダはササを、コアラはユーカリを食べ、ひもじくても他の葉を食べません。同様に昆虫もそれぞれ食べるエサ植物(食草・植樹)があります。公園には人間が楽しむための園芸種(花壇の花や余所から持ってきたツツジなどの木)が植えられていますが、園芸種にはここに昔から住んでいた生きものが利用できないものも多くあります。また芝生のような丈の低い草地は、人が遊んだりするには快適ですが、このような草地にすむ虫たちは限られます。

### ●バッタ広場の前の草地

草むらを歩くと草むらに潜んでいた小さな虫や大きな虫が飛び出してきます。草丈の高いイネ科植物が茂る草地は自然度が高く、ショウリョウバッタはこういう草地を好みます。

### ●生えてきた木

バッタ広場には、鳥の糞に混じって落とされた木の種から芽生えたエノキが多く育っています。ドングリから芽生えたコナラやクヌギがあり、風に乗って飛んできた種が芽生えた木もあります。

### ●生えてきた植物(草)

植物は子孫を残すためにさまざまな工夫をしています。風で種を飛ばす、動物にくっついて種を運んでもらう(くっつき虫)、地面に眠って発芽の機会を待つ埋土種子等々。

### ●生きものによって食べる植物が違う

- ・ セミのように大抵の木の汁を吸う虫もいます。オンブバッタは道ばたや庭にもいて餌のこだわりが少ない虫ですが、多くの昆虫にはそれぞれ食べるもの(食草・植樹)があります。
- ・ ササやクズを食べる虫(幼虫)もいます。
- ・ エノキの葉を食べる虫(幼虫)やコナラなどの葉を食べる虫(幼虫)もいます。
- ・ キリギリス類は藪のような環境を好み草食性も、雑食性もいます。

### ●食物連鎖

- ・ 生きものが多いバッタ広場では、生きている生きものを食べる生きものがきます。クモ(巣を作るクモやつくらないクモがいる)、カマキリ、スズメバチ、シオヤアブ、キリギリス、ヘビ、カナヘビ、カエルなど。
- ・ 生きものの死骸や糞を食べる虫もいます。
- ・ 城址もバッタ広場も、刈れた草や落葉はゴミとして処分せず、そのままにして、自然に土に戻ります。腐った植物を食べる虫(カブトムシやダンゴムシなど)もいます。

### ●バッタ広場の生き物達が訴えていることー生物多様性と人間

自然が身近でなくなってきました。公園では雑草(野草)は除去され、生き物達の姿もあまり見かけません。バッタ広場で、自然を感じてほしい。

私たちは自然から恵みをもらって生きています。自然は人類の存在基盤なのです。しかし自然(すべての動植物達、空気、水、土)は人間のためにはありません。私たち人類は、他の多くの生命と、この世界を分かち合っているのです。